

第26期考古学セミナー（2024年度）

—やまがたの遺跡の中のカミ・ホトケ—

第2回講座

講義③

遺跡の中のカミ・ホトケ —八幡一遺跡の出土事例から—

(公財)山形県埋蔵文化財センター

水戸部 秀樹 氏

令和6年9月29日（日）

会場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館研修室

遺跡の 中 の 神・仏

—八幡—遺跡の出土例などから—

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
水戸部秀樹

はじめる前に...

神仏習合(神仏混淆)

- ◆ 神仏習合とは「日本に土着の神様を祀る神道」と、「インド発祥で中国/朝鮮半島を経由してやってきた仏教」が、互いに影響し融合したことを言います。
- ◆ 神宮寺「神社に祀る神様を仏様の力で救うという目的で、建てられた寺院」を言います。

本地垂迹説

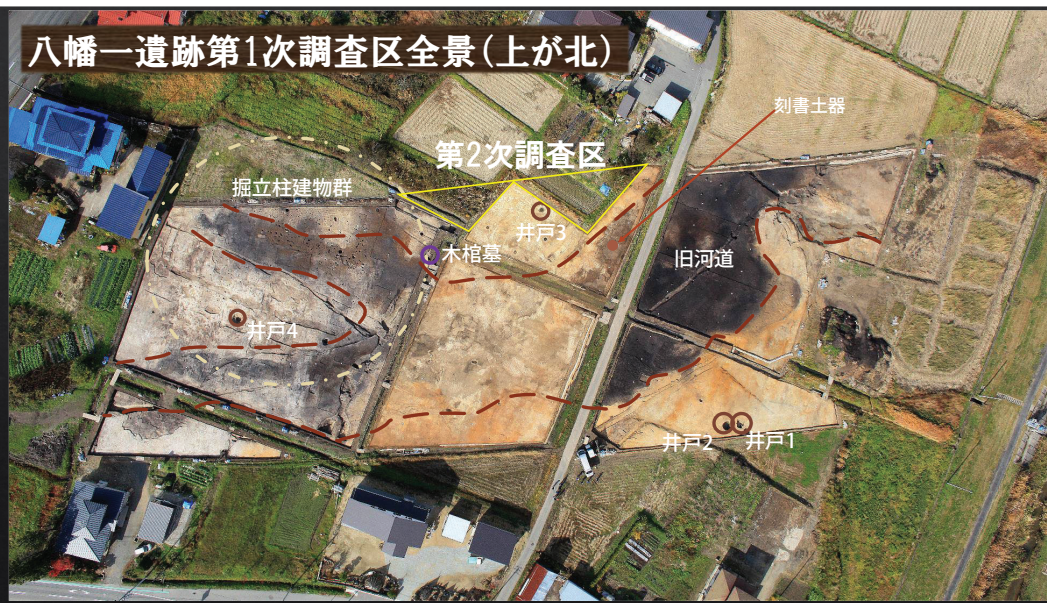
- ◆ 本地垂迹とは「仏様が本来の姿で日本の神様は化身(変身した後の姿)」
- ◆ 当然、逆の考え方もある
- ◆ 大黒様=大黒天(マハーカーラ)=大国主命
- ◆ 弁財天(サラスバティ)=市杵島姫命

神仏分離令と廃仏毀釈

- ◆ 神仏分離令とは、明治初頭に神道と仏教という日本に根付いた宗教を分離する目的で出されたお布令の総称(もしくは神仏判然令のこと)です。
- ◆ 廃仏毀釈とは、明治時代の神仏分離令の発布後に全国で起きたお寺に押し入り貴重な文化財である仏像や経典、伽藍という寺院の建物自体を破壊した「廃仏毀釈運動」のことを指します。



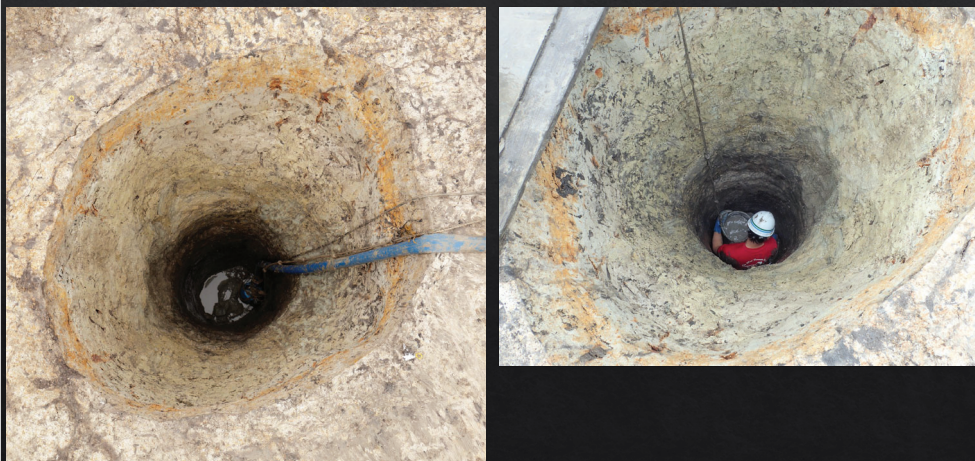
八幡一遺跡第1次調査区全景(上が北)



素掘り井戸:7基, 木製枠付井戸:1基, 土坑:4基が見つかった。



素掘り井戸 (深さ3.2m, 砂層に到達, 湧水あり)



底に横桟が残っていた (1辺80cm), 深さ2.4m, 湧水あり



1次調査の成果

井戸1

中世の縦板組横棧どめ井戸（幅1.4m, 深さ1m）



仏

◆ 遺跡のすぐ近くにお寺があるが・・・。

木棺墓

・ 17世紀の木棺墓、遺骨・棺の上半部は遺存せず



木棺の大きさ70×40cm

銅銭3枚出土



木棺の下から木製品出土

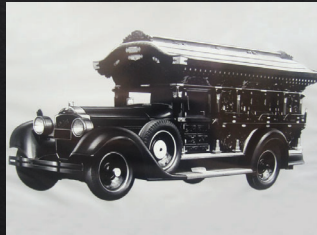


墨書きのある木製品, 17世紀の肥前の皿が出土



輿か？

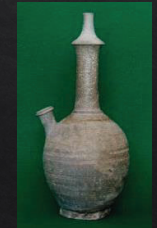
- 野辺送りに使用した輿の装飾部分か？
- 現代の霊柩車につながる



旧河道の北岸付近から刻書土器が出土、「佛法爲」



- 平安時代（9世紀前半ころ）
- 須恵器の小型壺
- 仏具である水瓶・浄瓶か？



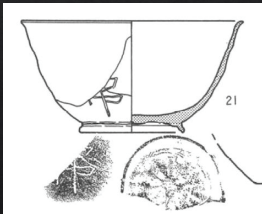
浄瓶
(会津若松市)



水瓶
(嵐山町)

「佛法爲」

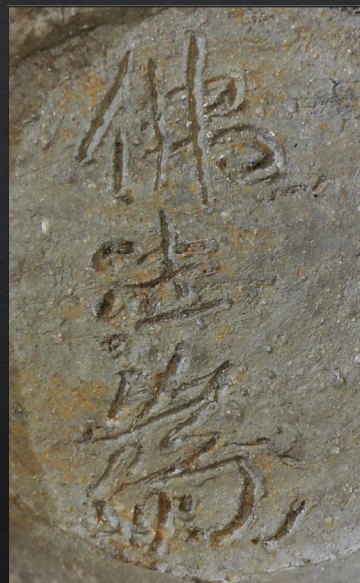
- 平安時代（9世紀前半ころ）
- 須恵器の小型壺
- 仏具である水瓶・浄瓶か？
- 米沢市の横山C遺跡について2例目
- 川西町の道伝遺跡から「佛」の墨書土器



横山C遺跡（米沢市）



道伝遺跡（川西町）



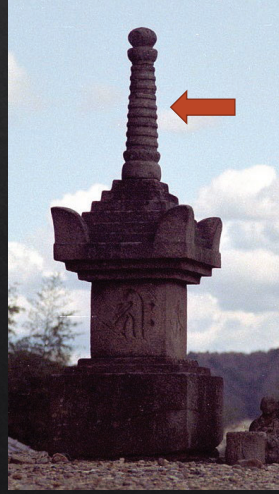
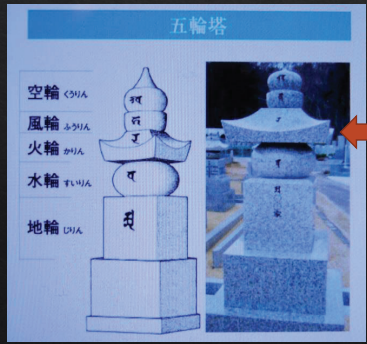
板碑，厨子型板碑（室町時代）



追善供養や逆修供養のため

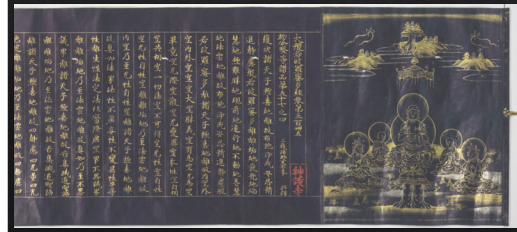
五輪塔

相輪 (宝篋印塔や石塔)



金泥付着かわらけ (17世紀前半)

金が付着



◆ 金泥一切経 (神護寺蔵、12世紀)

滑石製石鍋 (13世紀ころ)



- 旧河道北岸付近から出土
- 九州北部産
- 西日本と鎌倉で多く出土
- 県内3例目
- 鎌倉幕府の関係者がもたらしたか？
- 遺跡のとなりの八幡神社と関係があるのか？ (八幡神は源氏の氏神)

神

◆ 遺跡の隣に八幡神社があるが・・・。



◆ 陽物(コンセイ)

ご神体か(道祖神)?



◆ 川樋男神社(南陽市川樋)

ほだれ祭り(新潟県長岡市栃尾)



- ◆ 道祖神のひとつである男根形のほだれ様は農耕の実りと人の実りを守る神様として、古くから信仰されてきました。
- ◆ 新潟県のほぼ中央に位置する長岡市栃尾地域。その市街からほぼ南へ7kmほどいった下来伝地区に「ほだれ様」は祀られています。毎年3月の第2日曜日に地区をあげて、高さ2.2m重さ約600kgの巨大な男根形の御神体に初嫁を乗せ、五穀豊穡と子宝安産を願い「ほだれ祭」が催されます。

柄鏡



◆ もしかしてご神体(違うだろう)

八幡一遺跡のまとめ

- ◆ 旧河道から仏教に関する遺物が出土していることから、遺跡北側の微高地に古代から中近世にかけての仏教に関する遺跡が存在する可能性がある。
- ◆ 源氏とのかかわりを持つ人物に関する遺跡か？

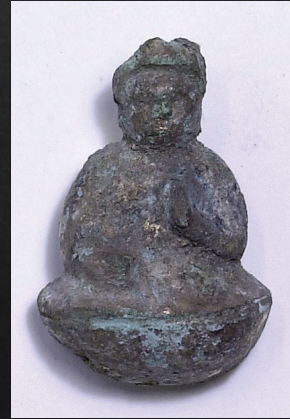
上野遺跡(鮭川村)



- ◆ 中世末期の屋敷跡
- ◆ 「金光寺」という地名が残っていた
- ◆ 佐々木氏(後の鮭延氏)の屋敷か?
- ◆ 池のある庭園があった



懸仏が出土



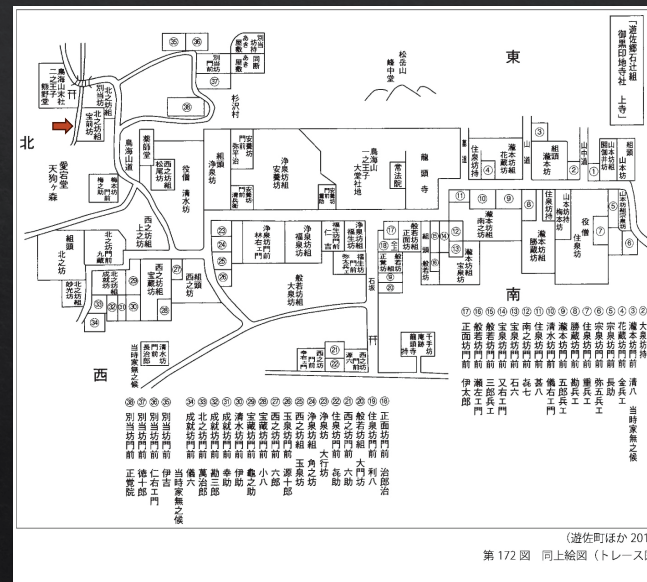
- ◆ 青銅製
- ◆ 鏡から外れた尊像
- ◆ 鍍金
- ◆ 脇侍



五尊懸仏(13世紀)

杉沢C遺跡

- ◆ 遺跡の位置は「北之坊組宝前坊」に当たる。鳥海修験の拠点となる蕨岡龍頭寺衆徒三十三坊の一つであり、延宝5年(1677)「庄内寺社領記」にはその名が既に記載されている坊である。



隣には熊野神社

- ◆ 木造の神座像が藤原期、木造の十二神将は鎌倉期、木造の阿弥陀如来は万治年号銘(1658-1661年)
- ◆ 熊野速玉大社ご由緒より
 - ◆ 御祭神は、熊野速玉大神(いざなぎのみこと)・熊野夫須美大神(いざなみのみこと)を主神に、十二柱の神々を祀り上げ、新宮十二社大権現として全国から崇敬を集めています。
 - ◆ 奈良朝末期にいたって、熊野速玉大神は衆生の苦しみ、病気を癒す薬師如来として過去世の救済を、また熊野夫須美大神は現世利益を授ける千手観音菩薩、家津美御子大神は来世浄土へ導く阿弥陀如来として崇敬され、山伏や熊野比丘尼によって熊野権現信仰は飛躍的な拡がりを見せ、全国に数千に及ぶ御分社が祀られるにいたりました。



位置関係

- ◇ 大物忌大神の本地仏は薬師如来、熊野神社の祭神の本地仏も薬師如来
- ◇ 薬師如来の脇侍は月光菩薩、日光菩薩

寒河江市、慈恩寺



- ◇ 木造薬師如来及両脇侍像



神社のかたち①

- ◇ 例
 - ◇ 厳島神社
 - ◇ 弁財天、市杵島姫命を祀る
 - ◇ 池など水に囲まれた小島に社殿を配置
 - ◇ 広島の厳島を模したものか？
 - ◇ 発掘調査で種類が判明する可能性がある神社

豊後一之宮、大分県大分市西寒多神社内の厳島神社

神社のかたち②



- ◇ 例
 - ◇ 神明神社（天照大御神を祀る）
 - ◇ 鳥居の型式、神明鳥居か明神系鳥居か
 - ◇ 本殿の建築様式が、神明造りであるか？
 - ◇ 鰹木の本数が偶数（女性神）か奇数（男性神）か？
 - ◇ 伊勢神宮を模しているのか？
 - ◇ 実際は正確でない場合も多い



山形市錦町、神明神社

神社のかたち③



福岡県福岡市宮崎宮（八幡大神）

◇ 狛犬のかたち

- ◇ 向かって右は獅子、左が狛犬
- ◇ 獅子は口を閉じ、角がない
- ◇ 狛犬は口を開け、角がある
- ◇ 正確でない場合も多い
- ◇ 阿吽（阿形と吽形）で、仁王像と同じ



遺跡としての寺



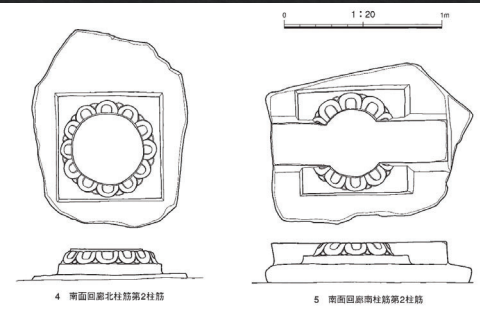
奈良県明日香村、山田寺（7世紀中ごろ）

- ◇ 古代寺院の廃寺巡り
- ◇ 基壇や礎石
- ◇ 全国各地に存在する
- ◇ 瓦が大量に出土する

山田寺の発掘調査



- ◇ 南面回廊の調査
- ◇ 回廊が倒壊した状態で出土
- ◇ 蘇我倉山田石川麻呂による（藤原道長も訪問した）
- ◇ 仏像が興福寺に強奪され、今も残る



4 南面回廊北柱跡第2柱跡

5 南面回廊南柱跡第2柱跡

元興寺極楽房本堂（鎌倉時代）



- ◇ 飛鳥から奈良に移った際に飛鳥寺から元興寺となった日本最古の寺（蘇我馬子）
- ◇ 創建時に葺かれた瓦が移築され現在も西側の屋根に残る



史跡、頭塔



- ◆ 奈良県奈良市
- ◆ 奈良時代の僧により作られたピラミッド型の塔
- ◆ 類例は大阪府堺市の土塔のみ
- ◆ 発掘調査され、史跡として整備されたが現在は見学中止
- ◆ 一辺3.2m、高さ10m、7段の階段状

高畠町、西田1・2遺跡（現在調査中）

- ◆ 古墳時代、9世紀、中世の遺構・遺物
- ◆ 柱穴、土坑、井戸、池、周溝墓
- ◆ 隣には船橋神社（春日神社）



奈良県奈良市、春日大社

- ◆ 東には亀岡文珠
- ◆ 近隣には麴岡さんという姓
- ◆ 春日神社の祭神は武甕槌神・経津主神・天兒屋根命・比売神
- ◆ 武甕槌神・経津主神は悪神である星の神、天津甕星と対峙した
- ◆ 地名は瑞祥地名に変えられることがあるので、もともとは麴岡だったのかも、勝手に疑っている
- ◆ まだ手がかりもないが、今後の楽しみとしている

まとめ

- ◆ 観光地、世界の著名遺跡は宗教施設であることが多い
- ◆ 長い歴史の中で忘れ去られたものがあるかも知れない
- ◆ 宗教施設において、「かたち」はとても重要である。かたちの意味を理解すると、楽しみは何倍にもなる
- ◆ しかし、そのかたちも正確に伝わっていなかったり、間違っていたりするので注意が必要
- ◆ 学問的な裏付けはないので趣味の範囲です。